

鈴木しゅうや市政報告レポート

homepage : <http://shuya-namegata.com/>

2019年
9月号
9月1日発行

市民の皆さまの信託を賜り、2期目の市政を担わせていただいてから、早や2年が過ぎようとしています。

現在、皆さまの格別なご理解とご協力をいただきながら、各種事業を進めているところでありますが、今号では、私が2期目のマニフェストとして掲げた「5つの基本政策」の推進状況についてご報告いたします。

2期目の任期の折り返しを迎え、いかにして持続可能なまちづくりを行っていくか、私の手腕が問われていると思います。

皆さまが、行方市に「住みたい」「住み続けたい」という愛着と誇りをいつまでも持ち続けることができるよう、これまでの成果にさらに磨きをかけていくとともに、皆さまの声を聴き、そして共に汗を流し、暮らしやすさを実感できる施策を実行してまいります。

引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



★★★★★★★★ 5つの基本政策 ★★★★★★★★

その1 少子化対策と子育て支援の充実

○子育てにおける相談支援体制の充実

➡ 子育て世代包括支援センター「どれみ」を中心とした、妊娠、出産、子育て期までの切れ目のないサポートを実施

○18歳未満の医療費無料化（マル福の拡充）

➡ 対象年齢を18歳の誕生日後の最初の3月31日までに拡大（平成30年度～）

○病中・病後児保育の体制整備

➡ 病後児保育を玉造第一保育園・龍翔寺こども園の2園で実施

○不妊治療に対する支援の拡充

➡ 助成金額の増額（平成29年度～）
不育症治療の助成開始（平成30年度～）

○ICT教育および郷土教育の推進

➡ ICT教育用大型掲示装置（携帯型電子黒板）の導入
プログラミング教育の推進

○放課後児童クラブ（キッズ）・降園後保育（エンゼル）の充実

➡ 10月から降園後保育の無償化（準備中）

その2 元気な行方になるための働く場と産業の拡大

○なめがたブランドの構築およびトップセールスの実施

➡『6次産業化推進計画』の策定（平成30年度）。『ブランド戦略室』の設置（平成31年度～）。都内をはじめ各地でトップセールスを実施

○地域産業の担い手の確保および支援

➡後継者の育成・新規就農者の支援を継続中

○中小企業および起業者への支援体制の拡充

➡「起業ビジネスプラン塾」の開催など、創業希望者の掘り起こしや支援を実施

○大規模自転車道等、地域資源を活用した観光事業の推進

➡『茨城100kウルトラマラソンin鹿行』の開催。各種団体との連携による観光イベントの開催。アントラースホームタウンDMOとの円滑な連携

その3 安心・安全で住みやすいまちづくりの推進

○公共広域バス及び公共交通網等の整備・充実

➡地域公共交通再編実施計画に基づく路線の整備完了、実証試験運行中
➡スクールバスおよびデマンドタクシーの空き時間を活用した市営路線バスの運行（平成29年度～）

○定住の促進、移住者の受入れ体制の整備

➡定住関連イベント（ビジネスプランコンテスト、農業体験等）の実施
➡定住応援助成金の交付を継続中。地域おこし協力隊の設置（平成30年度～）

○水辺などの環境保全の推進

➡「第26回環境自治体会議なめがた大会」の開催。SDGsの推進

○防犯カメラ等の設置

➡交差点等要所への防犯カメラの増設。防災・減災に向けた対策の強化

その4 健康で文化的なまちづくり

○救急医療・地域医療体制の拡充

➡土浦協同病院なめがた地域医療センターの維持および地域医療の充実について、国をはじめとする関係機関への要望を継続中

○誰もがスポーツを楽しめる環境づくり

➡障害者スポーツや研修会の開催（フライングディスク・ブラインドサッカー等）
➡ライフステージに応じたスポーツの機会の提供や活動を推進中

○介護予防施策の充実・高齢者の生きがいづくり

➡地域包括支援センターの拡充やシルバーリハビリ体操・レクリエーションを推進

その5 夢のもてる行政運営

○なめがたエリアテレビを活用した情報提供

➡生放送の配信（エフエムかしま等との連携）。人財育成（「子ども放送局」・「アナウンサー養成講座」等）の実施。簡易劇場を活用した賑わい創出

○シティプロモーションによる情報発信

➡『ふるさと住民票』の発行（平成31年度～）。都営地下鉄への公告の掲出。
➡地域資源を最大限に活用した魅力の醸成・発信を継続中

○庁舎等、公共施設の安全性・機能性の検証と効率化の向上

➡庁舎建設庁内検討委員会の設置。PPP・PFIによる公共施設の管理の検証を実施